

# 演習説明

株式会社マリモソーシャルソリューションズ  
公共福祉事業部 相談支援センター マリモ  
主任相談支援専門員 松井 小百合



## 本日のプログラム（午前）

時間	項目	内容	担当
9:30-----9:40	10分	オリエンテーション	(福)大乗福祉会 相談支援事業所フロントライン 藤井 知佳
9:40----10:30	50分	【導入講義】 『チームアプローチ』 1日目の講義の振り返り	(株)マリモソーシャルソリューションズ 相談支援センターマリモ 松井 小百合
10:30----10:40	10分	休憩	
10:40----10:55	15分	セルフチェック ・セルフチェックシート（チームア プローチ）に記入（テキストP249） ・演習説明	
10:55----11:25	30分	【演習】 アイスブレイク インターバル報告 自己紹介、グランドルール インターバル報告書①【書式6】	
11:25----12:15	50分	事例報告 検討 実践報告書（エコマップ）を用いて報 告・検討 ※3日演習シート	
12:15----13:15	60分	休憩	



# 本日のプログラム（午後）

時間		項目		内容	担当
13:15----	15:15	120分	【演習】 事例報告 検討/ 代表事例の選出	実践報告書（エコマップ）を用いて 報告・検討/ 演習4日目のGSVで取組む代表事例 を選出する	(株)マリモソーシャルソリューションズ 相談支援センターマリモ 松井 小百合
15:15----	15:25	10分	休憩		
15:25----	16:30	65分	【演習】 インターバルの整理	インターバル報告書②【書式8】	(福)大乗福祉会 相談支援事業所フロンタライン 藤井 知佳
16:30----	16:40	10分	【講義】 本日のまとめ		
16:40----	17:05	25分	【講義】 【演習】 ふりかえり	ふりかえりシート	

## セルフチェック

1日目の多職種連携・チームアプローチの講義、  
2日目の実践報告の内容に留意して、  
日ごろの業務に照らし合わせて自己の振り返りを行います。

用意する書式

セルフチェックシート  
(チームアプローチ)  
テキストP249 に直接書き込んでください。

### 【書式7】セルフチェックシート（チームアプローチ）

( )内に○印（理解し、実践できている）、△印（理解しているが、実践できていない）、×印（理解していない）を記入してください。

#### 1. チームアプローチの視点と意思決定支援

- ①本人の周囲にいる人々や地域の関係機関を把握することの必要性 ( )
- ②本人の意思（本人中心）を尊重しながらチームで支援することの必要性 ( )
- ③本人を中心としたチームを構成するための必要な手段 ( )
- ④本人を中心としたチームのなかでの自分の役割 ( )
- ⑤チームアプローチを通じた新たな社会資源の創出 ( )

#### 2. チームアプローチの展開

- ①支援目標の共通理解を得るための会議の実施 ( )
- ②支援の経過や本人の満足度、チームアプローチの評価のための会議の実施 ( )
- ③危機介入や緊急時の支援体制やリスクマネジメント ( )
- ④地域資源（地域のなかにあるあたりまえの資源）の活用方法 ( )
- ⑤地域を巻き込んだ支援の検討 ( )
- ⑥本人の意思を確認しながらチームでかかわる ( )

#### 3. 関係機関との連携（個別支援を中心としたネットワーク）

- ①本人の意思決定支援に重きを置いた会議の必要性 ( )
- ②本人を中心とした支援会議の目的と効果 ( )
- ③本人を中心とした支援会議を日常的に実施している ( )
- ④本人を中心とした支援会議の自分の役割 ( )
- ⑤ネットワークを通じた社会資源の活用 ( )
- ⑥ネットワークを通じた社会資源の創出 ( )

# 演習のすすめかた

用意する書式

- ▼インターバル報告書①【書式6】
- ▼実践報告書（エコマップ）【書式1-②】

時間	内容	
10:55--- 11:25	30分	<p>▼アイスブレイク 〔自己紹介（お名前、所属）〕 〔本日のお題〕 〔グラドルールの再確認〕 〔役割（司会）を決める〕</p> <p>▼インターバル報告 【書式6】2.インターバル期間に取り組んだ内容・効果・基幹相談支援センターとの連携</p> <p>2日目の演習時に得られた支援上の気づきに対して、実際の支援の状況や基幹相談支援センター等と協議した内容を報告する。 （ひとり2分程度）</p>

進行はFT

## インターバル報告書①【書式6】

2. インターバル期間に取り組んだ内容・効果・基幹相談支援センターとの連携

1.-②の取り組みとその効果

基幹相談支援センター等との共有内容や取組等

インターバル期間の気づき（啓蒙）

# 演習のすすめかた

用意する書式

- ▼実践報告書（エコマップ）【書式1-②】
- ▼演習シート

時間	内容				
11:25--- 15:15	170分		6人G (24分)	7人G (21分)	グループワークの内容
		①読み込み	3分	3分	報告者はこの時間の中で、6～7分程度で報告できるようにまとめる。
		②報告	7分	6分	事前課題で作成した実践報告書（エコマップ）を通して、チーム支援での <b>共通目標の立て方</b> 、 <b>多職種連携の手続き手順や関係性</b> 、 <b>チームの意思決定支援</b> など、チームアプローチの展開について報告➡（P7 すずめかたのポイント①）
		③質問	7分	6分	報告されたことに対して、アイデア出しにつながるように質問➡（P8 すずめかたのポイント②）
		④検討 (アイデア出し)	7分	6分	報告者は、出てきたアイデアや助言を <b>演習シート</b> の〔チームアプローチの展開で困っていることへの対応策〕に記入する。 ➡（P9 すずめかたのポイント③）
		⑤代表事例選出			演習4日目のGSVで取組む代表事例を選ぶ➡（P10 選出ポイント）

## 演習のすすめかたのポイント ①

### 〔報告〕

▼事前課題で作成した実践報告書（エコマップ）（書式1-②）の

【支援方針】、【困っていること】を説明

▼次の4つの点について説明、報告

□利用者と地域資源（人）や、社会資源（人）との関係性、

□利用者を取りまく人（環境）と相談支援専門員との関係性や働きかけ方

□多職種連携の内容（チーム支援の共有、担当者会議の開催など）

□チームでの意思決定支援

## 演習のすすめかたのポイント ②

### 〔質問〕

▼オープンクエスチョンを避ける

ex.) 「家族はどうですか？」→人数？家族の思い？家族のだれ？

▼クローズドクエスチョンを用いる

ex.) 「妹さんはご本人の意思や希望に対してどのように仰っていますか？」

▼質問・発言の意図を確認する（聞き返す、聞き直す）

→漠然とした質問に対して、「もう少し具体的にお願いします。」

→質問者にとっても、質問の意図が明確になる。

▼質問した人に、回答から判断できたこと、わかったことを述べてもらう場面をつくる。

## 演習のすすめかたのポイント ③

〔検討（アイデア出し）〕

- ▼報告者がチームアプローチの展開に対して、困っていること（最善の支援のために、何を、どうすればいいのか悩んでいることなど）について対応策を検討する。
- ▼関係機関との連携にあたって、共通目標を通して支援が展開されているか。
- ▼多職種との連携にあたり手続き、手順は妥当かどうか  
（「導入」「実践」「フォロー」）（テキストP123～126）
- ▼チーム内での意思決定支援がどのように行われているのか  
→本人の意思が置き去りにされていないか、常に意思確認を行ってきたか等
- ▼今後の環境調整の方向性は？  
→エコマップから見えてくる 地域資源（人）、社会資源（人）と利用者の関係性、そして利用者を取りまく環境が社会資源中心なのか、地域資源も含まれているのかを確認する。



## 代表事例の選出ポイント

- 演習1（演習2日目）、演習2（演習3日目）の実践報告を通して、演習4日目のグループスーパービジョン（GSV）で取り組む代表事例を選出

用意する書式

- ▼実践報告書【書式1-①】
- ▼実践報告書（エコマップ）【書式1-②】

進行はFT

- ▼福祉サービスを利用しているが、地域資源（人）を活用することで、生活の質が高まる事例
- ▼研修の効果を高める観点から避けたほうがいい事例
  - ・健康状態の悪化や虐待事例などの危機介入が必要な事例
  - ・触法行為を繰り返す、福祉的支援を拒否するなど複雑な事例



☆FTによる助言と同意が必要です☆